

此日月凡代令三百之松もついで代古松月令を  
限き美八百貴同と如やうこれい雇う實うあふ神も  
たりし傳しうけらるるうし書とてて咄の  
たのやねえの知とてをのみ

浪花

冬鶴源梅巻

海心たよりてきんの山たよりてきんはげしくしんが事

偶成詩款かた

當觀明世化祥瑞應時新常融天平歲今傳文政  
春得令城郭跡藝井陶唐氏雪漉乾坤滿何論簾  
あ珍

皇のめくみ屋してはい白も松

園の東小ぶらうの花

南都くく四里後居し少くく庄村百姓小平次在系  
くく如浪亀南時七席在馬門町くく三と年在  
瀬七方いんくく由





天明二年、宗七月廿二日、奥州會津縣松林山、松林二年と  
 云稱、即ちある、怪談の圖

云々、七年夏の以り、奥州會津、  
 松林以下の男女、子依、  
 りも、かく、舎、  
 の、  
 湯、  
 者、